

ArcGIS Desktop 中級講習会～水害被害の分析～

空間情報科学研究センター(CSIS)では、ArcGIS Desktop の初級レベルの方々を対象に、近年大きい被害をもたらしている洪水被害を対象とし、被害状況の把握のための分析手法に関する講習会を開催いたします。また、浸水区域内の住民の避難を想定した避難場所ごとの想定収容人数を把握するための手順を体験していただきます。

※ArcGIS の基本操作やシェープファイルの概念など初級レベルを理解できる方が対象です。

1. 日時と会場

2020年2月12日(水)13:00～16:00 @柏キャンパス 総合研究棟4階 470会議室

2. 講習会内容

- ・ 水害被害地域に関するデータ(浸水領域など)の取得
- ・ 空間結合による浸水被害の算出(人口、土地利用、建物)
- ・ ネットワーク分析を活用した避難場所別の想定収容人数の把握

3. 対象者

東京大学の学生および教職員 20名程度

※今回の講習会は日本語で実施するため、日本語を理解できる方に限ります

※ArcGIS の基本操作やシェープファイルの概念など初級レベルを理解できる方が対象です

4. 参加条件・注意事項

- ・ 参加無料。ただし、コンピュータの用意、会場までの交通費は各自でご負担ください。
- ・ ArcGIS Desktop 日本語版が正しく動作するコンピュータをご自身でご用意ください。
- ・ 当日の動作不良には対応いたしかねますので、必ず各自で動作確認を行ってください。
- ・ GIS 学習や講習内容、進行速度などに関するアンケートをお願いすることがあります。アンケート結果は今後の講習会実施に向けた参考としますのでご協力ください。

※ インストールの代行や補助、個別の機種や環境に起因する不具合には対応いたしかねます。

※ 日本語版以外の ArcGIS では、メニューの表記や配列の差異、データ表示の不具合などが発生する可能性があります。対応いたしかねますのでご了承ください。

※ ArcGIS の基本操作やシェープファイルの概念など初級レベルを理解できる方が対象です。

5. お申し込み方法

お名前、ご所属学科等、学年・職名、メールアドレスをご登録ください。

<https://forms.gle/V9wq68B24Lv6TPns8>

ご希望多数の場合は先着順でお受けします。満員の際はご容赦ください。

